

副会頭 就任特集

つかだ
塚田 まゆり氏

長野商工会議所副会頭
ダンススタジオブロードウェイ代表

ダイバーシティを進め、ひいては少子化を止めるには、女性が安心して発言できる場をつくるのが大切です。語ることは化学反応を起こします。自分の意見が職場や社会を変えられることを実感することで生き生き働く女性が増え、世の中はきっと変わります。これから私は、「寄り添う」をキーワードに、女性や子どもや若者たちや会員事業所の皆様のための「語り場」をたくさんつくることで、長野がワクワクするお手伝いを精一杯していきます。

「寄り添う」をキーワードに 長野がワクワクする場づくりを

いただいた役割を
全身全霊、精一杯努めて

長野商工会議所副会頭に就任されたお気持ちと抱負をお聞かせください。

塚田 とても身の引き締まる思いです。水野会頭が掲げた活動方針「住む人 来る人 ワクワクする街 長野」に向けて、頑張っていきたいと思っています。まずは、長野商工会議所の会員様のため、そして長野地域のために、自分に何ができるか一生懸命考えているところです。初めての女性副会頭であることは、特に意識していません。いただいた役割をいつも全身全霊、精一杯努めて、皆さんのために頑張りたい、それだけです。

「長野働く女性会議」の
立ち上げを計画

長野地域は今、どんな課題を抱えているとお考えですか。

塚田 長野地域に限らず日本全体としての課題が少子化ですよね。女性のワークライフバランスが実現できていないこと、つまり働きたいから結婚や出産や子育てを諦めている状況がまだまだあることが原因ではないでしょうか。そうした女性たちを救っていかないと、少子化はたぶんなくなりません。

先日、長野市女性活躍推進事業のダイバーシティ推進シンポジウムにパネリストとして参加しました。企業も女性管理職を増やそうとしているものの、男性がつくれたダイバーシティの構想が多いようです。女性が発案したものでないことが、女性活躍を進めるうえで、ひいては少子化を食い止めるうえで弊害になっているのではないかと感じました。

でもらい、長野の説明をしてほしいです。そのためにも今年は、NAGANO検定ジュニアのテキストに載った市内の名所を巡る、「わくわく夏の親子体験名所ツアー」を企画します。この企画はまさに親子で参加することに意味があります。親御さんと一緒に体験したことが大切な思い出として子どもたちに刻まれ、将来ふとそれを思い出したとき、長野に戻ってこようと思ってもらえたら素敵じゃないですか。

教育問題特別委員会では、若者が進学などで市外県外へ出ても、また長野へ戻ってきたと思ってもらえるように、長野市内の小・中学校の児童生徒に対し、会員事業所が自社の長所や魅力を伝える「ナガノの仕事、出張先生」プロジェクトを実施していきます。これから、出張先生になってもらえる企業のリストづくりを始めるところです。

さらに、どの会員事業所が助けを求めているのか、支援には何が足りないのか、まずは寄り添って耳を傾け、皆で共有する場をつくっていかうと思えます。語ることは化学反応を起こします。女性のこと子どもや若者のことも会員事業所のこととも、「寄り添う」をキーワードに皆さんの「語り場」をたくさんつくることで、長野がワクワクするお手伝いをしていきたいです。



PROFILE

昭和35年5月4日生まれ。信州大学大学院卒業。日本パレ工協会会員、健康運動指導士。清泉女学院大学・清泉女子短期大学非常勤講師、善光寺の世界遺産登録をすすめる会議長、長野市社会福祉協議会副会長、長野市教育委員会委員を務める。

しよつか。

女性もフランクに会話できる場では、男性同様な会社や上司について言いたい放題話せます。中にはきつと、ダイバーシティを進める種があるかもしれないのに、内輪話で終わってしまっていて、拾い上げられることがあります。また、男性は日々いろんな会議に顔を出しますが、女性にはそうした会議自体がなく、あつても男性が仕切る会議なので、その中で自ら発言することを躊躇しています。自分の仕事環境を「こうすればもっと良くなるのに」など気付いても、ついには「言っても変わらない」「そもそも発言する場がない」と諦めてしまっているのです。

女性が生き生き働く現場は女性自ら発言発案してつくっていくことが、最も近いダイバーシティへの道でしょう。そこで、「長野働く女性会議」を立ち上げようと考えています。この会議では、まず女性が生きやすい社会、働きやすい組織について女性が自ら意見を述べる場所をつくり、たくさん女性のアイデアを掲げ上げていきます。発言の場をつくり、自分たちの発言したこと

が反映されて良い環境になっていくのが実感できたら、女性たちはおのずと社会にもっと目を向け、男性の中に混じっても安心して発言するはずです。またこうした場を通じて、働く女性同士でビジネスのネットワークも築けます。

これは、次世代の幸せな働く女性のための基盤づくりでもあります。女性の社会参画をあくまで女性たち自身で促す場づくりを長野商工会議所ではしてまいります。職場で幸せを感じ、ワクワクしながら仕事をする女性が増えることで、きつと会社の雰囲気も良くなり生産性も上がるでしょう。

次世代をつなぐ
長野の子どもたちのために
ワクワクを創出

他にはどんな取り組みに力を入れていきますか。

塚田 ひとは、長野市のご当地検定、NAGANO検定プロジェクトを精力的に推進して、地域のことは自分で説明できる市民を増やしたいと思っています。特に子どもたちに長野を大好きになっ

DATA

ダンススタジオブロードウェイ
[設立] 1986(昭和61)年
[業務内容] ダンススタジオ
[所在地] 長野市南県町639
[TEL] 026-234-4551

横顔

善光寺御本尊が自らは本堂正面西側の脇にいながら、本田善光らを見守る様子に「寄り添う」ことの尊さを学んだ。みんなを元気にする方法を考えて、実際に楽しんでくれたその中の誰かが次へ向かって歩き出す姿を見るのが嬉しい。